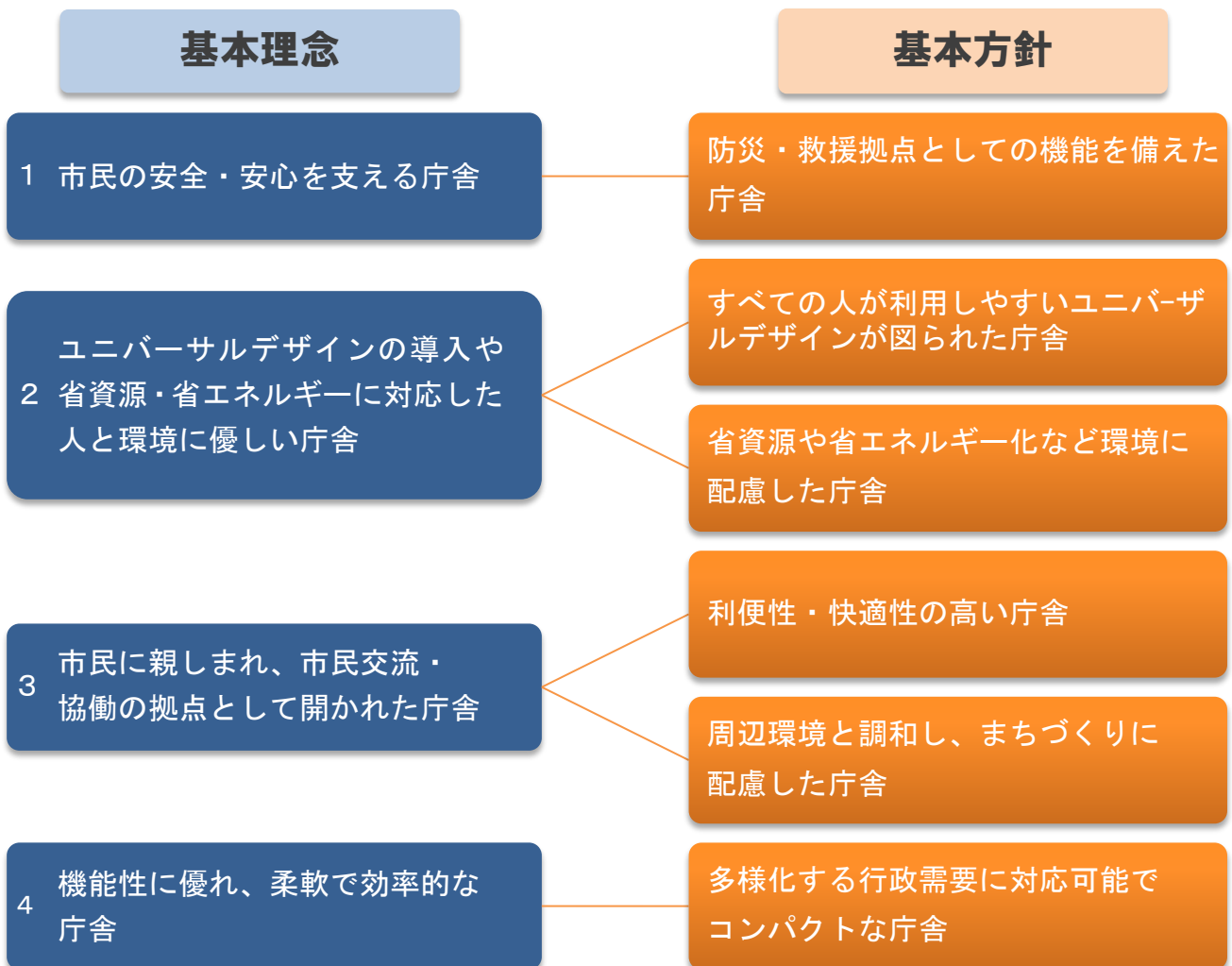


■ 庁舎建設に向けた基本的な考え方

1. 新庁舎の基本理念

新庁舎建設にあたっては、第6期総合計画に掲げる、めざす都市像「安心して心豊かにいきいき輝くまち」の実現に向けたまちづくりの拠点として、その役割が発揮できる庁舎づくりを進めていく必要があります。現庁舎が抱える課題の解決にとどまらず、市民の利便性や快適性の向上を図り、市民に親しまれる庁舎であるとともに、職員の業務効率の向上等による質の高い市民サービス提供を目指す必要があります。

そこで、新庁舎建設の基本理念を次のとおりとします。



2. 新庁舎建設の基本方針

4つの基本理念をより具体化する方策として、次の基本方針を定めます。

基本理念①：市民の安全・安心を支える庁舎

基本方針1 「防災・救援拠点としての機能を備えた庁舎」

- ・大地震などの災害時に、災害対策本部としての機能を十分に発揮できるよう、救援活動や復旧・復興活動の拠点としての機能強化を図り、市民の安心と安全を確保します。
- ・耐震性の高い安全な建物として、災害時においても市民が安全に利用できる基本的な機能や設備を維持します。

基本理念②：ユニバーサルデザインの導入や省資源・省エネルギーに対応した人と環境にやさしい庁舎

基本方針2 「すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインが図られた庁舎」

- ・高齢者や障がい者を始め、誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮したユニバーサルデザインを導入した「人にやさしい庁舎」を目指します。
- ・駐車場や駐輪場などの周辺整備にも配慮し、来庁者の利便性の向上を図ります。

基本方針3 「省資源や省エネルギー化など環境に配慮した庁舎」

- ・環境への負荷をできるだけ低減していくために省エネルギー化や自然エネルギーの活用など、地球環境に配慮した庁舎を目指すとともに、維持管理コストを最小限に抑える経済性を兼ね備えた庁舎を目指します。

基本理念③：市民に親しまれ市民交流・協働の拠点としての開かれた庁舎

基本方針4 「利便性・快適性の高い庁舎」

- ・市民が利用する際に、わかりにくさや不便さなどを解消し、市民サービスの充実及び利便性、快適性を感じられる庁舎を目指します。
- ・市民が気軽に立ち寄り交流できるスペースや空間を確保するなど、市民のふれあいの場として親しまれる庁舎を目指します。

基本方針5 「周辺環境と調和し、まちづくりに配慮した庁舎」

- ・周辺環境との調和に配慮し、圧迫感を与えないデザインとして、本市の顔としてふさわしい庁舎を目指します。
- ・周辺の施設と連携して賑わいを創出し、まちに活気を与える庁舎を目指します。

基本理念④：機能性に優れ、柔軟で効率的な庁舎

基本方針6 「多様化する行政需要に対応可能でコンパクトな庁舎」

- ・情報化社会に対応した建物構造や設備と合わせて、事務効率に配慮した機能的でコンパクトな庁舎を目指します。
- ・社会情勢や市民ニーズの変化による行政組織や行政サービスの見直しなど、将来の変化に対応できる柔軟な機能と空間の確保を目指します。

3. 新庁舎の機能

(1) 防災拠点機能

災害活動の拠点となることから、建物は水防対策や耐震性を有した耐震構造、あるいは免震・制震構造を視野に入れたつくりとし、災害対策本部としての機能が十分に発揮することができる室や、設備機能を備えます。



【防災会議室イメージ】



【免震装置イメージ】

(2) 窓口機能

来庁者に対し、窓口サービスは最も重要なところです。窓口は、市民の目線にたって、低層階に配置し、案内表示の工夫や動線に配慮した待合スペース、窓口カウンターはワンストップサービスや必要に応じ、安心してプライバシーが守れる機能を検討します。



【窓口カウンターイメージ】



【窓口カウンターイメージ】

(3) 市民活動機能

市民参加と協働のまちづくりの拠点として、ユニバーサルデザインの理念を取入れ、高齢者、身体障がい者、子ども、外国人などに配慮した、分かりやすく、移動しやすく、利用しやすい庁舎を目指します。市民や地域活動団体のイベントやコミュニティ形成のためのスペースや、市政、市民活動、地域の観光に関する情報発信など、市民交流やにぎわいの生まれる場を提供します。



【市民情報コーナーイメージ】



【分かりやすい案内掲示板イメージ】

(4) 執務機能

執務空間は人口、職員数など時代の変化や機能の分散、集約化、あるいは市民が求めるサービスに職員がスピーディかつ的確に対応する機能的で柔軟に対応できるオープンフロアを基本とします。



【オープンフロアイメージ】



【オープンフロアイメージ】

(5) 議会機能

議会の議事運営に関し、議員定数の増減、会派構成の変更など、将来的な変動要因にも柔軟に対応できるように、長期的な視点に立った、可変性のある整備とします。

市民が傍聴しやすく、開かれた雰囲気議場を目指します。

(6) 施設管理、運用機能

市民の重要な個人データをはじめ、様々な文書管理や保護が可能な、情報化社会に対応した機能を備え、市民が安心して利用できる安全な庁舎とします。

省エネルギー化や自然エネルギーの活用などを考慮し、維持・管理・運営がしやすく、ランニングコストを最小限に抑え、経済性を兼ねた庁舎とします。